

風のてのひら

～南高だより No. 114～
令和4年2月25日発行
発行責任者：長崎県立五島南高等学校
校長 立木 英 邦

「校長室の窓から」

「日本サッカーの土台を築いた偉大な指導者」

～長崎総合科学大学付属高校サッカー部 小嶺忠敏監督～

今年も福江島上空を寒気が覆う日が多く、寒さ、冷たさを感じる日が多い冬になっています。新型コロナウイルス感染拡大の第6波により、まんえん防止措置がとられる中、再度、学校行事等において外部の方々等を学校にお招きできない状況となり、日頃から本校を支援していただいている皆様には、大変申し訳なく思っております。そういった中で、どうか学校の教育活動は予定通り実施することができております。1月下旬には、今年度の生徒の活動の集大成となる夢トライコースの生徒による「地域共生発表会」と「ふるさと教育実践報告会」を実施しました。生徒の意欲的な取組がみられ、生徒の成長が感じられる発表会でした。2月上旬には、夢トライコースの生徒達が、地域の方にご指導いただき作成してきた連凧を、強風が吹く中で無事にあげることができました。連凧は見事な出来映えで、生徒達も一生の記憶に残る経験ができたと思います。ご指導いただいた皆様には、感謝申し上げます。卒業を間近に控えた3年生については、ほとんどの生徒の進路が確定しています。就職希望者全員の就職が内定しており、本校では15年連続で就職内定率100%という結果になりました。私立大学や専門学校を受験した生徒も全員合格していますが、今年度で2回目を迎えた大学入学共通テストを受験した生徒が、この共通テストを利用する国立大学や私立大学にチャレンジしています。今年の共通テストの問題は、非常に難化し個人の全教科の総点の全国平均が昨年に比べて数十点下がっていますが、受験した本校生はそういう問題にもうまく対応し良い結果を残してくれました。大学個別の2次試験にも実力を遺憾なく発揮し、国立大学にも合格してくれるものと確信しています。

ところで、毎年、年末・年始の時期に全国高校サッカー選手権が行われています。今年度の長崎県の代表は長崎総合科学大学付属高校でした。1、2回戦は勝ち上がり、1月2日（日）に行われた3回戦で京都代表の東山高校に敗れました。体調が悪くこの全国選手権のベンチには座ることができずにいた小嶺忠敏監督は、この大会期間中の1月7日（金）に亡くなりました。この訃報は、全国版のニュースで報じられ、国立競技場で行われたこの大会の準決勝、決勝の3試合のすべてにおいて試合開始前に黙祷が捧げられました。1月9日（日）に営まれた葬儀・告別式には、日本サッカー協会の田嶋幸三会長をはじめとするサッカー関係者や教え子、親族など合わせて約1,500人の参列がありました。私も中学生・高校生の頃から小嶺監督が指導されていた高校の実績、偉業に、感激・感動をいただけてきましたが、改めて偉大な高校サッカーの指導者であられたということを感じました。

小嶺監督は、島原商業高校で1977年に全国大会初優勝となるインターハイ優勝を飾り、その後転勤された国見高校では、戦後最多タイとなる6度の全国選手権優勝、4度のインターハイ優勝を飾

りました。約54年間の指導者人生の中で17度の全国制覇を成し遂げられています。小嶺監督の下で指導を受けた多くの方が、日本のサッカー界のいろいろな立場で活躍しています。島原商業高校出身者の中では、元日本代表の坪田和美氏、勝矢寿延氏、元Jリーガーの財満博文氏、植村修一氏、大分トリニータやセレッソ大阪で監督をされた小林伸二氏、国見高校出身者の中では、元日本代表でV・ファーレン長崎元監督、SC相模原現監督の高木琢也氏、元日本代表でヴィッセル神戸現監督の三浦淳寛氏、元日本代表でJ1通算最多得点記録（191得点）保持者の大久保嘉人氏、元日本代表でJ1FC東京の選手だった徳永悠平氏、元日本代表で全国高校サッカー選手権通算最多得点記録（17得点）保持者の平山相太氏等の錚々たる方々がいます。

小嶺監督の指導は、技術もさることながら想像を絶する厳しい練習で体力、持久力を鍛え上げることでも有名ですが、常々愛情を持って生徒を見守り、生徒の長い人生のことまで考えて、サッカーの指導以上に人間教育に力を入れておられたということが、指導を受けた方々の言葉から分かります。三浦淳寛氏は、「常に謙虚でありなさい。素晴らしいサッカー選手である前に、素晴らしい人間でありなさい。」という指導を受け、いただいた言葉「自信と過信は紙一重」を座右の銘にしているということです。大久保嘉人氏は「先生に教わったことすべてが今の自分になっています。先生に直接、引退の報告ができて良かった。先生が作ってくれた大久保嘉人のサッカー人生を、最後の最後まで見届けてくださり、本当にありがとうございました。」とコメントしています。徳永悠平氏は、「自分が一番成長できた高校時代に監督であり校長先生でもあった小嶺先生に、サッカーをはじめ人間としてどうあるべきかを教えていただいたので感謝しています。小嶺先生のサッカーに対する情熱を肌で感じてきて、今後、自分がどういう形でサッカーに関わっていくか考えています。」と語っています。

日本サッカー協会の田嶋幸三会長は、告別式で「多くの素晴らしい選手、監督を育てたことに日本サッカー界を代表して感謝したい。先生の教えを忘れることなく、日本サッカー界を前に進めていく。」と弔辞を述べ、「小嶺先生がまかれた種が日本各地で実り、多くの日本代表選手が生まれることに繋がった。」と功績をたたえています。男子サッカー日本代表は、今現在、ワールドカップサッカー7大会連続出場をかけてアジア最終予選を戦っています。小嶺監督は、その土台作りに大きく貢献されました。その大きな要因は、小嶺監督が最も重視し実践してこられた人間教育にあったということを改めて理解することができました。

偉大なサッカーの指導者であり、偉大な教育者であった小嶺監督のご冥福をお祈りいたします。

《長崎県教育委員会からのお知らせ》

県立高校や特別支援学校で、講師として働いてくださる方を随時募集しています。

詳しく知りたい方は、下記までお問い合わせください。また、このことについて、ご家族やお知り合いの方とも情報を共有していただけると幸いです。

詳しい募集状況については、右のQRコード、または『県立学校講師募集長崎県』で検索してください。長崎県教育委員会のFacebookもフォローをよろしくお願います！

お問い合わせ先 高校教育課 県立学校人事班 TEL：095-894-3358



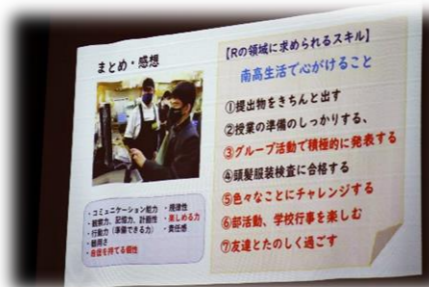
地域共生研究発表会

1月26日(水)に地域共生研究発表会が実施されました。全学年の夢トライコース生が1年間で活動したことを講師の方々にお礼の気持ちを込め、報告しました。どのグループも工夫を凝らし、わかりやすく、温かみのある発表ばかりでした。その中でも、3年生の発表は、内容・発表態度・質疑応答など、すべてにおいて、1・2年生のお手本になるものでした。また、今年度の活動において、協力していただいた地域の方々、本当にありがとうございました。また、次年度以降も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い致します。



ふるさと教育実践報告会

1月27日(木)にふるさと教育実践報告会が実施されました。全生徒が総合的な探究の時間や学校行事を通して、ふるさと(五島)について、五島を知り、五島の現状や課題を見出し、解決策を考えるなど、活動をしてきました。今回の報告会においては、1年生は五島の企業について、2年生は五島の課題について、比較や関連付けをしながら、探究したものをまとめて、報告し、3年生は、個人で五島の課題解決策を考え、学年で1つの冊子を完成させました。生徒たちは、今日のために準備したものを一生懸命、聞き手に伝えている姿が印象的でした。緊張感がありながらも、南高らしい実践発表会となりました。



～地域の皆様及び外部協力機関の皆様へ～

地域共生(夢トライコース)の活動及びふるさと教育への協力、誠にありがとうございました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、最後の発表会にはご参加いただけませんでしたが、皆様のおかげで、無事に会を終えることができました。今後とも、ご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

進路ガイダンスセミナー(1・2年)

2月10日(木)に進路ガイダンスセミナーが実施されました。今回は、3年生による「進路実現に関する体験談」の発表でした。



それぞれが実体験をもとに、失敗談を含めて具体的にわかりやすく、新鮮な話をしてくれました。また、実際に、模擬面接を実践してくれる3年生もいました。在校生にとって、今後の進路を考える大変良い機会となりました。

3月の月行事予定

- 3月 1日(火) 卒業式
- 2日(水) SC来校日
- 7日(月) 会場設営(午前日課)
- 8日(火)～10日(木) 自宅学習
- 11日(金) マナトレ認定テスト
- 14日(月) 振替休日
- 19日(土) 登校日 教科書販売
- 24日(木) 終業式 大掃除



ご相談やお気づきがありましたらいつでもご連絡ください。

五島南高校 電話 0959-82-0132
FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご加入ください。以下のアドレスに空メールを送ってご登録ください。
gotominami-t@m-mate.com

